

問

代表・一般質問を平成25年12月3日、4日、5日に開会した第4回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する議員と無党派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長はじめ執行機関の考えを尋ねました。以下その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

より優しく、より温かい区

政へ財政・教育等の改革を

自由民主党 新井英生 議員



区長の国家観を問う

【問】政治家は、国家観による国のあるべき姿、理想像を示す必要がある。日本人として伝統文化、祖先への尊崇の念を持つ生き方を再評価する必要がある。もう一度その精神を取り戻すべきである。区長の国家観を問う。

【区長】一人一人の大人が、日本人として恥ずかしくない行動の水準を示し、子供達が「自分もこんな大人になりたい」と思える、大人に囲まれて育つプラスな環境の循環を身近な所から作り上げていく、そんな所から私は始めてまいりたい、そのような考えの中で、足立区の子ども支援、教育支援を進めている。

【努力する納税者が報われる社会】一部に権利ばかり主張し義務を果たしていない国民が存在することは残念である。権利と義務が不可分一体だという理念のもと、区民の「負担分任の義務」について基本認識を伺う。

【政策経営】区の行政サービスの遂行は、能力に応じた負担の分任がなければ成立しない。そのため、税の納付能力がありながら滞納している方に対し、不公平は許さないという決意のもと、差押え等、処分を強化し、義務の履行を強く求めていく。

【問】財政調整基金は平成20年度末の110億円に対し、4年間で約235億円となっている。今後、基金残高は一定の目標を定めて活用していく必要があると考えるが、今後の推移を伺う。

【政策経営】持続可能な安定的な財政運営を行うため、目標とする財政調整基金の残高は、区の標準財政規模を1千500億円程度と見て、その10%から15%程度、150億円から225億円程度が適正値と考える。今後の推移は、深刻な影響を及ぼす法人住民税の一部国税化の動向等を注視しながら、一時的には、より高い残高の目標値の設定も検討する必要があると考える。

【問】区は高度な医療機能を有する大病院等が進出する場合は、支援を行うと表明しているが、病院誘致そのものに関して、区の重点プロジェクト推進戦略や基本構想等に記述がない。区民要望にある総合病院の誘致が、なぜ、これまで区の経営方針に盛り込まれてこなかったのか。

【政策経営】足立・荒川・葛飾で構成する区東北部保健医療圏の問題や適切な用地等、不明確な部分が多く、医療圏域を超えた病院誘致は困難と考える。しかし、同じ医療圏域内で、大病院等の総合病院が区に進出する可能性があれば、エリアデザイン推進本部での検討に加える等、区の方針の一つとして支援していきたいと考える。

【問】孤立ゼロプロジェクト推進活動の報告を見ると、高齢者実態調査の報告のみである。本来なら、取り組みの結果、高齢者の孤立減少や社会参加の増加等の報告があるべきと思う。今後、具体的な取り組みをもっとPRしていくべきではないか。



【政策経営】孤立ゼロプロジェクト推進活動の報告を見ると、高齢者実態調査の報告のみである。本来なら、取り組みの結果、高齢者の孤立減少や社会参加の増加等の報告があるべきと思う。今後、具体的な取り組みをもっとPRしていくべきではないか。

【地域】現段階では実態調査が活動の中心であるため、委員会等には、その進捗を報告している状況にある。成果が出るには時間がかかるが、今後、より多くの皆様にプロジェクトのご理解をいただき、参画していただくよう、地域の具体的な取り組みを順次PRしていく。

【生活保護適正化のためには】この度、生活保護適正実施協議会から答申がなされたが、どのように具現化していくのか。また、不正受給を減らすには、答申内容を被保護者に確り伝え、区の姿勢を示すべきと考えるがどうか。

【福祉】医療扶助の適正化では、年内に福祉事務所嘱託医を中心に連絡会を設置し、見直し等を行っていく。訪問や調査体制の強化では、福祉事務所の組織を見直し、実施体制の強化を検討

【問】資産や収入の調査では、国等に制度改正を要望していく。答申の周知については、今後作成するリーフレットで説明し、あだち広報等で生活保護適正化の取り組みを伝えていく。

【在宅医療使用済み注射針を行政回収に切り替えよ】家庭で使用済みのインシュリン注射針の使用済み注射針の回収について、先の決算特別委員会で「予算措置への努力」を表明していた。そこで助成制度ではなく、自ら行う行政回収への切り替えを要望するがどうか。

【環境】来年度からは、区が専門業者に委託し、処理する仕組みを進めていきたいと考える。

【問】学校の標準服を公費負担で】学校統合は、地域住民の民意ではなく教育行政の計画によるものである。原因者負担の考えに立てば、統合による標準服は公費で賄うべきと考えるが、区の考えを伺う。

【教育長】統合中学校における標準服の公費負担については、今後、統合地域協議会等で地域の声を伺いながら検討していく。

【問】「今後の地方教育行政の在り方について」教育制度分科会で審議されてきた。区教委として今回の論点について、どのような考えを持っているのか。



【教委長】権限と責任の所在をより明確化することは望ましいことであり、どのような制度改革になったとしても、それぞれ

足立の子供達へ正しい歴史誇りと国を愛する教育を！

自由民主党 せぬま 剛 議員



漫画「はだしのゲン」を小・中学校になぜ置くのか

【問】作者の思い込みを押し付け、学習指導要領の「天皇について理解と敬意の念を深めるようにする」ことに反する等、学校図書として不適切だと思う。

【教育指導】一定の知識や経験がないまま読んだ場合、恐怖心を覚えることや誤った認識が身に付くことも危惧され、誰にでも推薦できるとは考えていない。したがって、学校では、発達段階に応じて、閲覧上の配慮が必要なることを校長会を通じて周知しているが、引き続き徹底するよう指導していく。

【問】国歌教育の取り組みは】区のほとんどの管理職が祝日に国旗を掲げていないことが判明した。区民に奉仕し、区政を運営する立場で国旗・国歌の教育はまともになされているか憂慮する。今後の取り組みと決意を伺う。

【教育指導】区教委として、各学校には平日や行事の実施日に国旗・区旗・校旗の掲揚を指導している。祝日の国旗掲揚については、区として規定はないが、学校では祝日の趣旨等を児童・生徒に指導し、国民の祝日を祝う心情や態度等を育てている。

【問】道徳教育の教科への格上げが、平成27年度を目前に示された。実施に向け「相手を感じる心」を基本とする等、区の目指す方向性を示すべきである。手



道徳教育を問う

【問】道徳教育の教科への格上げが、平成27年度を目前に示された。実施に向け「相手を感じる心」を基本とする等、区の目指す方向性を示すべきである。手

の役割を果たしながら連携協力して、地域の教育振興に自治体総力で取り組める体制づくりが重要と考えている。